

第8回香取市地域公共交通協議会会議録

会議の名称	第8回香取市地域公共交通協議会	
開催日時	平成23年7月27日(水) 14時00分から15時40分まで	
開催場所	香取市役所(本庁)7階全員協議会室	
議長氏名	香取市地域公共交通協議会会長 八木 貴弘	
出席者氏名	別紙のとおり	
欠席者氏名	別紙のとおり	
事務局氏名	資料1のとおり	
会議事項	1 議題	2 会議結果
	(1) 香取市地域公共交通協議会規約(別表)の改正について (2) 平成22年度香取市地域公共協議会決算について (3) 平成23年度香取市地域公共協議会補正予算について (4) 計画に基づく主な事業等について ① 新規施策等について ② 報告事項等について (5) その他 ① 被災者に対する支援について ② 地域公共交通確保維持改善事業について	全議案原案のとおり可決
会議の経過	別添(会議経過)のとおり	
会議資料	① 香取市地域公共交通協議会規約改正(案)(資料1) ② 第8回協議会資料(資料2) ③ 乗降調査及びインタビュー調査報告書(資料3)	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	署 名	
平成23年8月 31 日	議長 八木 貴弘	

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局 八木会長	<p>1 開会</p> <p>【配布資料の確認】</p> <p>2 あいさつ</p> <p>みなさんこんにちは。香取市の副市長の八木でございます。よろしく申し上げます。本日は本当にお忙しい中、本協議会にお時間を取っていただきましてご出席いただき、本当にありがとうございます。</p> <p>前回、去る3月11日の地震によりまして、前回の協議会が急きょ書面による会議ということでとり行わせていただいたところでございます。地震の対策につきましては、現在、市は方針を立てまして、3年ぐらいかけてと思っておりますが、一日も早い復興をとということで一生懸命取り組んでいるところでございます。</p> <p>本協議会につきましては、今回はそういう形で書面による会議とさせていただいたのですが、今日が本年度の最初の会議ということになります。平成20年度にこの会議自体が設置されておりますので、今回で第8回ということになっているわけでございます。</p> <p>今日の議題につきましては、昨年度の決算ということと、それから今年度につきましてはの予算の補正ということがございますけれども、加えまして、循環バスの実証運行を少しづつ改善しながらやってきましたが、その現状のご報告と、それからなかなか思わしくない部分もございまして、これをどうしていったらいいかということを考えております。後ほど事務局からご説明いただきまして、それについての今後の方向性、「こういったことを今考えています」といったことをご報告させていただいて、それについてまた、更に皆様方から、こういったことを考えたらどうか、あるいはこういうことをやったらどうか、というようなご意見を色々いただけたらどうか、そういう風に思っております。</p> <p>交通というものはですね、色々事前のアンケートではなかなかわからない部分が多くございます。実際、その要望があって、アンケートがあって、走ってみたけどもなかなか思うようにいかない。じゃあ、それを少し改善しながら、じゃこういう風にすればもうちょっと地元の人たちのための利便が上がるんじゃないだろうとか、こういうことをやればいいんじゃないとか、そういうようなことを色々やりながら進めていくことが重要かと思っておりますので、皆様方から忌憚のないご意見を頂ければと思っておりますのでございます。</p> <p>本日は、よろしく願いいたします。</p>
事務局	ありがとうございました。

		<p>それでは、ここで、人事異動等に伴いまして、新たに委員になられました方々のご紹介をさせていただきます。</p> <p>【新委員の紹介】</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、さっそくでございますけども、議事に入らせていただきます。本協議会規約第7条第1項の規定によりまして、会議の議長は会長となります。これより会議の進行を八木会長に申し上げます。それでは、よろしくお願いたします。</p>
議	長	<p>はい。それでは、本協議会の規約の規定によりまして、議長を務めさせていただきますのでよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、早速議事に入ります。議題の(1)、香取市地域公共交通協議会規約別表の改正につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
事	務	<p>3 議事</p> <p>(1)香取市地域公共交通協議会規約(別表)の改正について</p> <p>それでは説明に入らせていただきます。企画政策課の石毛と申します。どうぞよろしくお願いたします。</p>
議	長	<p>【規約の改正について説明】</p> <p>只今、事務局からご説明がありましたとおり、規約の別表ということでありまして、関係機関の組織名の変更に伴うものでありますが、特に、ご質問等ございますでしょうか。</p>
議	長	<p>(2)平成22年度香取市地域公共交通協議会決算について</p> <p>それでは、ないようですので、次に議事の(2)平成22年度香取市地域公共交通協議会決算について、事務局から説明をお願いします。</p>
事	務	<p>【香取市地域公共交通協議会決算について説明】</p>
議	長	<p>それでは、会計監査につきまして、監査報告をお願いします。</p>
大	野	<p>はい。監査委員滝浪の代理の大野でございます。平成23年7月13日、香取市地域公共交通協議会に係ります、予算執行の適否について会計帳簿並びに関係書類を監査したところ、いずれも適正に処理されておりますことをご報告申し上げます。監査報告につきましては以上です。</p>
議	長	<p>ありがとうございました。ただいま、平成22年度、昨年度の本協議会の決算書の説明と会計監査報告がございました。中身については、予算のとおり決算が出たということ</p>

		<p>でございますけれども、この点につきまして、特に何かご質問等ございますでしょうか。</p> <p>(3)平成 23 年度香取市地域公共交通協議会補正予算について</p>
議	長	<p>ないようでしたら、続きまして、議事(3)平成 23 年度、本年度の本協議会の補正予算について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局		<p>【香取市地域公共交通協議会補正予算について説明】</p>
議	長	<p>はい。今、事務局から予算書についてのご説明がありました。国庫補助金が思ったよりは付かなかったので補正予算で減額したとのことですが、これにつきまして、ご質問等などいかがでしょうか。</p> <p>(4)計画に基づく主な事業等について</p>
議	長	<p>よろしいでしょうか。では、実際にはこの予算の中で、今年度どうしていくかということが肝要になってくると思われまますので、続きまして、議事の(4)平成 23 年度、計画に基づく主な事業等ということで事務局から説明をお願いします。</p>
事務局		<p>【計画に基づく主な事業等(新規事業等)について説明】</p>
議	長	<p>はい。そうしましたら中身がずいぶん長くなりますので、一旦ここで切らせていただいて、前半、後半に分けたいと思います。今、事務局からご説明がございましたけれども、今年度の新規として、大きな課題とその方針といたしまして、一つ目の課題が小見川の循環バスが利用がなかなか少ないという話がありました。特に 4 月からさらに延伸をしたりですとか、色々運行ルートの見直しをやってはいますけれども、まだ今のところかなり少数にとどまっている。それじゃあどうするかということで、もう一回、そのニーズの再調査をやっていこうという話がありました。さらに最近各市が取り組んでいるデマンドについて少し勉強のようなことを始めていたらどうか、というような話でございました。他にも色々あるんですが、一旦ここで切らせていただいて、ここまでのところでご質問とかご意見とかいかがでしょうか。</p>
議	長	<p>それでは、私の方から一点。小見川の循環バス、岡飯田地区、地域要望を踏まえて回るようになりましたけれども、中々利用が低迷しているということですが、これは、これまでの周知とかという点はどのように行われていたのでしょうか。</p>
事務局		<p>はい。岡飯田地区への周知につきましては、区長を通じまして同じようなもの、「岡飯田地区へ延伸することとなりました、ぜひご利用ください」というようなチラシを配布しております。</p>

議	長	それはいつごろ配布したのですか。		
事	務	局	はい。延伸する前一月以内に配布しております。	
議	長	はい、わかりました。皆さんはいかがでしょうか。		
関	係	職	員	今のに関連するのですけれども、地区要望で行政側が対応したときに、利用者の見込み数というのはどのくらいを把握していたのですか。
議	長	はい。ではお願いします。		
事	務	局	はい。地区の要望ということだけではなくて、やはり小見川全体をどうにかしたいというのがあって、そういうところに回ればもう少し利用が上がるかということであった訳ですが、その運行の前には、区の方にアンケートをしました。その時点で、アンケートを実際には60世帯に配って85%の回収ということで、実際には51件から頂戴しておりました。その時点で、乗りますという方々が6割、60.8%から利用するという答えがあって、じゃあ、区の方と話をした中でこの位の利用があるのであれば、ということを開始をした、ということでございます。で、その時に今回説明の中にも3便、5便というのがありましたが、何本も行っているような状態ではないんですけれども、やはり、通院が目的というのが多いということで、やはり地区から病院の方に向かう朝の時間帯ですね、それと、まあ病院から帰るという12時台に希望が多いということで、その時間に合わせた設定をして運行を開始した、というところであったんですが、実態としてはこのようなことであったということでございます。	
議	長	よろしいでしょうか。 そうするとあれですか、アンケートを事前にした回答と実際に走らせてみた実績とがだいぶ違ったよ、ということですか。		
事	務	局	結果として今の時点だと、そういうことであります。	
議	長	ありがとうございました。それで、乗らなかった人にももう一回アンケートをし直そうということですね。		
事	務	局	まず、岡飯田の地区に関しては、始める前に皆さん利用するんだという話がありましたので、ここでもう一度ですね、こういう利用の状況なんですと、いうことを地区の皆さんにお知らせするというので、今回10ページにございます、非常にこの厳しい状況の表になってございましてけれども、皆さんに見ていただきたいという思いがあって、これを回覧をして、まあ今後もこういう状況があれば、というところまではちょっと言い及んではおりませんが、確保していくためにはやっぱり皆さんが利用しないとダメですよと、いうことをちょっと加えさせていただいて、これをまた区の	

	<p>方に配布をしようという風に思っております。</p>
<p>議 長</p>	<p>ありがとうございました。他に皆様方、いかがでしょうか。ご質問や、あるいはその今後のアンケートのとり方、あるいはさらにデマンドなんかも勉強していこうということですが、これらにつきまして、ご質問やご意見など、いかがでしょうか。</p>
<p>岩 崎 副 会 長</p>	<p>じゃあ、よろしいでしょうか。はい。それでは何点か確認をさせていただこうと思います。それでは、まず9ページでございますけども、9ページの中で今事業立てしているとは言え、21年度、22年度、23年度が、若干ではあります、今、東南と西ルートではちょっと違いますけども、伸びている。東南がですね。そういう傾向が見られますので。あとは岡飯田地区の部分について、今、職員の方からご意見がありましたけど、地区のですね、要望の中でやはり6割の方が利用するという中で、利用するときには事前のご案内の時に、3便と5便でやりますよ、というご案内をしてらっしゃるんですよね。ただバスが出るっていうのではなくて、で、その時に通院でご利用されているという方が6割。6割というところのパーセンテージなんですけど、6割の方というところと人数比にしたらどれくらいになるんでしょうか。</p>
<p>議 長</p>	<p>では、お願いします。今、はっきりした数値が手元になれば大体ということ。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>すみません。世帯単位でアンケートをしたものですから・・・。</p>
<p>岩 崎 副 会 長</p>	<p>私が申し上げたかったのは、他のルートとかと色々比べながら数字を見ていったりすると確かに少ないのかもしれないのですが、当該地域の方々の中で利用する人数はどのくらいがアッパーなのか、ということが先にですね。いわゆる目標値のようなところを持っていくのに、先ほどの小見川循環については1万とかいう数値でしたよね。でなくて、この今回チラシをまくところの今現在のご利用人数は2人の5人で7人でございますけども、実際に本当に目標とされているところ。さっき世帯数でいうと60世帯でございまして、「60世帯の方が病院利用するといったら、人数はそんなに多くないと思う」と言っているのか。いわゆる満足する値はどれくらいかを先にですね、ある程度のかみでも結構でございますから出していただいて、そこに持って行くにはどうしたらいいかということが必要だと思うんですね。今回チラシをまくんですけども、前回の利用前にまいてますし、実際に皆さん知っている方も多い中で、もう一回これを、チラシを配布したからといって、はたして本当に乗るであろうという人に届くかというというのがちょっと疑問がございます。であればもっとチラシのところですね、きつくですね、「もう乗らないんだったら止めます」という位にしないと。と言うのはですね、こちらの方の資料を見ますと29ページですかね。マイナス効果も書いてあるんですね。岡飯田を通るよ</p>

	<p>うになってから接続が悪くなったというご発言の方もいらっしゃるんですね。ということになると、岡飯田地区の方々が本当に乗るんだったら、乗るといふ運動をいくら挙げてですね、「やってください」という位、地域に入ってやっていただいた方がいいのかなと。でないといふ他の地域の方に……。聞くとところによると15分ぐらいですかね、延びちゃっているんですかね。全体ルートが。ということになると15分ご迷惑がかかっている人がいるかもしれない。あるいは15分どこかで時刻調整されますからこういう意見が出ているのかもしれない。ということになると、どちらをとるのかというところも判断していくためには、やはりこのチラシの中でしっかりとその部分をお知らせするなり、チラシに書くといふ厳しいといふご判断があるのであれば、事務局様の方の地域に入った時の説明の中で、しっかりと部落の集会とかですね、申し上げていくことが必要なんじゃないかなあと。それで目標値をしっかりと確認していく、というのが必要なのではないのでしょうか。一方では便利になったといふご意見もある訳でございますから、その方のご意見をもっと知らしめるような方法。やはり何が重要かといふとロコミだろうと思ふんですね。ですから地域の住民の方の力を借りるといふ手法もご検討していただければいいのかなと、そのように思っております。</p>
<p>議 長</p>	<p>じゃ、そういったご意見、事務局の方で今後地域に入ってしまったときの説明の仕方ですかですね、回覧の書き方とか、よろしく願ひします。続いてですか、願ひします。</p>
<p>岩崎副会長</p>	<p>そうしましたら今度は12ページで、今度小見川地区の方で、一生懸命利用者を伸ばす、頑張るといふ流れの中で、一方では並行して、新しい運行形態といふことでデマンドといふものを研究していきますといふことで12ページの表ができております。非常に良く事務局さん、コンサルさんも使わないで調べられたと思っております。一般の方々にわからないかも知れませんが、デマンド交通を始める前にこういう研究をされないで、そのままデマンド交通に入ってしまったらどうも失敗している、といふような傾向がございますので、聞きなれないデマンドといふ言葉でございますけれども、決して夢のような乗り物でも何でもなくて、コミュバスが走ってますと。それがちょっと小さくなりましたといふ感じだと思っております。あと、ドアツウドアになりますといふ種類なんですけれども、いい面もありますし悪い面もあります。その悪い面のところをよく説明の中で皆様にお示しいただいたかなといふ風に思っております。この中でただ気を付けていただきたいのが12ページの中で自治体視察先といふところがありまして、この表の中で1日の平均利用者数とございます。ここ、できましたら、例えば山武市でございますけれども54.2と書いてございます。ここ、スラッシュにしているだけで、54.2、地域の人口、加えることの乗られるであろう方の人口ですね。ですからここで行くと、上段を見ると山武市の全人口になっちゃってるんで、それを比べるところの市を比べるといふのじゃなくて、デマンドは狭い地域を</p>

<p>議 事 局</p>	<p>走る問題でございますので、その狭い地域で人数比を使ったときに、じゃあ 54.2 がいっぱい乗っているんだね、乗っていないんだね、ていうのを示しておかないと、どうもこう調べた数値が段々、今度そっちが目標値になってしまう可能性がございますので、今一度このところを精査してお示しをしていただければいいのかなと思っております。それと後ですね、コミュバスでも何でもそうなんですけども、システムの利用する、しない。ここもよく研究というか、導入としてはよくされていると思います。今後、デマンド交通システムの研究項目①というところがございますけども、全くその通りでございます。その下のデマンドに関する考え方もその通りでございますけども、成功の可否のポイントを先に申しあげますと、コミュバスと同じようにということで、地域の人がどれだけ乗るぞ、必要だぞ、ということが成功するかしないかでございますので、皆様方、委員の地区代表の皆様方に例えば自分の地区にこういうものが入ってきたときに、どうやったらみんな乗るんだぞという、是非ですね、アイデアを出していただきたいなど。行政側はこういう器を用意しましたけども、皆さんには、地区にこういう風にお知らせした方がいいだろうと。先ほど小見川でチラシがございましたね。チラシだけでいいのか、どういう風に説明していったらいいのか。コミュバスよりも成功するのは実は大変なことです。是非、皆様方の盛り上がりをお願いしたいなど、研究して実際にとなったらですね。もし適用するのであれば。後は研究されるときは、成功事例は非常に実は少ないので、失敗事例の中で何が失敗だったのか、じゃあこうしたら等、地域には絶対合うんだというところまで研究していただけるとよろしいのかなと思っております。地域最適化の交通に仕上げられるというのがデマンドの良さであると思っておりますので、その辺、よろしくをお願いしたいと思います。</p> <p>長 局</p> <p>はい、ありがとうございます。今後の進め方についてのご指摘だと思います。事務局の方から。</p> <p>1 点目の岡飯田区の関係でございますけども、ひとまず、4・5・6 月とこのような利用の状況でございますので、こういったことについてはまずお伝えさせていただこうかと思っております。その後のことに関しましては、区の区長さんがいらっしゃいますので、やはりどう進めていくのか、私たちはやっぱり説明に行ったりという必要性を感じておりますので、それはまたご相談させていただきながら、していきたいなと思っております。それとデマンドの関係につきましては、ここでは山武、古河、神栖という風な名前を挙げさせていただきましたが、実際にはすぐ隣の成田、あるいは酒々井、富里、佐倉。佐倉なんかは始まっておりますし、もう私たちの近辺で始まっている、また始めようとしているという状況でございます。で実際には、じゃあデマンド一本でいくのか、バスと並行で行くのかというまだまだ研究しなければいけないこと、一番大事なものは収入と経費の関係、どのくらいの負担になるのかという、それが一番私たちは気になっておりますので、まだまだ研究しなくてははいけません。ただ</p>
--------------	---

<p>議</p> <p>長</p>	<p>どうしても市・町間を比べるってことではないのですが、現在言われているのは神栖でしているのになんで香取はできないのかということですね。どうしても比べられた話をされますので。やっぱりそれは地域事情と厳しいことを言えば財政力の問題があったりとかというのが現状ですので、そういったものも含め、先行したところが、今お話がありましたけども、失敗事例というのをあまり教えてもらえるかどうかわかりませんが、そういった研究をとにかくして自分たちでやれるのはいったい何なのか、そこを模索してまいりたい。ですからまだまだしましようというのは時間がかかると思うのですが、今、こういったスタートをしないとやはりどうしても周りとの乖離がひどくなってくる感じがしておりますので、研究については進めさせていただきたいと思えます。</p> <p>ありがとうございます。特にデマンドの話は、これから色々研究しないといけないテーマがすごく沢山あると思いますので、運輸局もですね、色々ご相談なりあるいは教えていただくことが多いと思いますのでよろしく願いいたします。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>(4-2) 計画に基づく主な事業の実施状況(報告事項等)について</p>
<p>議</p> <p>長</p>	<p>では、ないようでしたら続きまして、残りの後半と言いますか、先ほどの資料の 13 ページ以降についての説明をお願いします。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>【報告事項等について説明】</p>
<p>議</p> <p>長</p>	<p>じゃあ、17 ページまでで一旦切らせていただいて、ここまでのところで、先ほどご説明を頂きましたけども、質問やご意見はいかがでしょうか。</p>
<p>議</p> <p>長</p>	<p>すみません。じゃあ、また私からすみませんが、まず 13 ページの循環バスの車体広告ですが、掲出料、料金設定の仕方については、これは、何かを参考にして設定したのですか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>全国で 90 自治体ほどの事例の方をまず集めました。そこで面積、それから人口、そして掲出面積、この 3 点を比較いたしましたしてこの金額を算出いたしました。</p>
<p>議</p> <p>長</p>	<p>はい、わかりました。先進事例を見ながらそれを決めたということですね。ありがとうございます。他に皆様、お気づきの点などいかがでしょうか。これは様々なバス路線につきまして、色々改善をして見直しをしながらさらに運行をしていっているという状況ですけども、何か方向性があれば。事業についてももう少しこうしたらどうかというようなご意見があればお知らせいただければと思いますが。よろしいでしょうか。</p>

岩崎副会長	<p>確認させてください。16 ページでございますが、一番最後のところで「利用者の減少は」ということで、震災の影響というものもあるんですけれども、平均利用者数の推移というところを見ると、1日平均で36.1とか20.3とございますけれども、月割りでいくと、月の平均で求めていくとどうでしょうか、改正後の数字。確かに土曜日は運行しているので、その辺りで割り戻してしまうとどうかとは思いますが。こちらの方へ来ていただいて乗っていただくということで月割りでいくと。確かに3月は比較しづらい部分もありますけど、それを除いた4・5・6月。いわゆる対前年比ですね。割り戻したら本当に減少されているのでしょうか。</p>
議 長 事務局	<p>事務局の方、どうでしょうか。お願いします。</p> <p>まず、この周遊ルートですけれども、昨年6月から実験運行を開始したものでございますので、前年度と比較できるのは6月だけの数字しかありません。6月だけで比較しますと、昨年6月は1日平均50.3人。これに対しまして本年につきましては1日平均25.0人、約半減というような状況になっております。また改正してからの状況ですが、やはり3月が1日平均10人を割っておりまして8.9人。4月が13.0人。5月につきましてはゴールデンウィーク若干回復しまして31.7人。で、6月に25.0人というような状況になっております。以上です。</p>
岩崎副会長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
議 長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
関係職員	<p>すみません。今の16ページのところなのですが、イベント。要は水の郷さわらでイベントがあった時とか、後、香取神宮で正月が結構お客さん来ると思うのですが、その1月だけ特出して利用が増えるとか、そういったイベントとかお祭りがあった時にこの路線で増える状況があるよとかいうのがございますでしょうか。</p>
議 長 事務局	<p>事務局の方でいかがでしょうか。</p> <p>一応、昨年11月の月別の平均利用者数でいきますと、一番多かったのが11月の51.0人というような数字になっております。続いて多かったのが観光客の多い6月の50.3人。そしてその次に多いのが1月の47.2人というような状況になっておりまして、一概にこのイベントのせいが増えたとかというのはまだわからないような状況になっております。以上です。</p>
議 長	<p>他にいかがでしょうか。今、佐原の循環バスについては、まあ、もう少し数字を見る必要があるのかなと思いますが、観光客が減っていますので、数字を注視しておく必要があるのかなと思いますので、事務局の方で数字についてはよく確認するようにお願いします。</p>

<p>議 長</p> <p>事務局</p> <p>議 長</p>	<p>(4-3) 計画に基づく主な事業の実施状況(報告事項等)について</p> <p>(5) その他</p> <p>それでは続きまして 18 ページから続きの方をお願いします。</p> <p>【報告事項等について説明】 【その他について説明】</p> <p>はい、ありがとうございました。以上、事務局からご説明いただきましたけれども、このことにつきましてご質問、ご意見などいかがでしょうか。あるいはせっかくの機会ですので、何か全般的なことでも結構ですし、どうでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>せっかくの機会ですので、先ほど事務局から国の補助事業の改正の話がありましたが、これにつきましてせっかくの機会ですので副会長の方から。</p>
<p>岩崎副会長</p>	<p>それでは 18 ページでございます。18 ページの四角で 3 番になっているところの地域公共交通確保維持改善事業でございますが、今、事務局さんの方から細かくご案内があったところでございますけれども、これについて念のために申しあげておきますけれども、本日の冒頭でございますが予算・決算についてご案内がありまして、国の補助としては小見川の循環バスと佐原循環と 2 つの補助をさせていただいておりますが、この表にありますとおり生活交通存続の危機に接している地域に対して、来年度からは補助ということでございますので、今こちらに 2 つの補助を出させていただいてますがどちらが地域の生活交通存続の危機に瀕しているかというとき、佐原ではなくて小見川の循環でございますので、もし補助の必要という方向になりましたら、そちらの方の 1 本になります。今後の予算につきましては、地域で何か所、例えば、こういうところで補助が欲しい、こういうところに必要なんだというご案内があったとしても、あるいは委員の皆様方がいる地域であっても、市町村に対してはですね、細かい制度はあるんですけども、市町村内では 1 か所の補助ということになります。他に国と県が出している補助路線というのがございますが、それに充当するようなところではそれに 1 つか 2 つか。今のような小見川の循環のところだったらそこに出しますというイメージでございますので、今後は何か所も、申し訳ありませんけれども、国の予算も逼迫しておりますのでございませぬ。それから事務局の方からご案内がありましたが、もし来年度、小見川循環の方で継続して国の補助が必要ということでありましたらば、来年度の予定でございますけれども、今のスケジュールで行くと来年 6 月に補助申請をするということになります。ただ 6 月の申請でございますので、こちらの会の方ではそれ以前にしっかりと計画を立てていただいて出していただくということになると思っておりますので、スケジュール的にいうと年度末ぐらいに小見川のバスの</p>

<p>議 長</p>	<p>方向性を出していただいて、申請に向かった協議会の中の協議を出していただくことになろうかと思えます。まず補助のつけ方が違うということ、それからスケジュール的にいうと来年の6月の交付申請でございますので、それに間に合うように皆様方の協議をしていただいて合意をつけていただくという形でないと申請できませんよということになりますので、その2点をご案内を申し上げておきます。</p>
<p>岩崎副会長</p>	<p>ありがとうございます。新しい補助制度は市町村で1か所ということでしょうか。</p>
<p>議 長</p>	<p>交通計画……。例えばこの地域でいいますと交通空白地域という指定になろうかと思えますけども、その地域に1か所でございますね。</p> <p>わかりました。また引き続きよく教えていただければと思います。他によろしいでしょうか。</p> <p>それでは、以上で、本日本日予定されておりました議事が終了いたしました。冒頭、最初に資料の中に入っていたと思えますけども、一枚紙で何かお気づきの点やご意見、ご提案等がございましたらお寄せくださいという紙が入っていたと思えますが、何かございましたらお手数ですけどもお願いしたいと思えます。これをもちまして、私の議長の任を解かせていただきます。ありがとうございます。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、議事進行、大変ありがとうございました。長時間に渡りご審議いただきありがとうございました。これをもちまして第8回の交通協議会を閉じさせていただきたいと思えます。本日は誠にありがとうございました。</p> <p>4 閉会</p>

会議の名称 第8回香取市地域公共交通協議会
開 催 日 平成23年7月27日(水)

出 欠 席 者 名 簿

委 員 氏 名		出欠
会長	八木 貴弘	出席
副会長	岩崎 英一	出席
委員	松鷯 照明	出席
委員	滝浪 善裕	出席
委員	小川 幹人	出席
委員	花崎 幸一	欠席
委員	高橋 實	出席
委員	藤田 信一	出席
委員	鷯澤 尚夫	出席
委員	橋本 定廣	出席
委員	渡辺 道彦	出席
委員	植松 登志宏	出席
委員	田谷 志郎	欠席
委員	高橋 茂	欠席

委 員 氏 名		出欠
委員	菅谷 長藏	欠席
委員	松川 忠史	欠席
委員	八角 和爾	出席
委員	林 浩美	出席
委員	本宮 敏雄	出席
関係職員	寺島 雄一	出席
関係職員	瀬宮 洋嘉	出席
関係職員	根本 義郎	出席
関係職員	石田 清隆	欠席
関係職員	菅井 國郎	出席
関係職員	篠塚 純夫	出席
関係職員	黒田 芳男	出席
関係職員	鷯澤 清明	出席
関係職員	澁谷 武男	出席

出席 22人 ・ 欠席 6人